

1日目 10月7日(火)

平成26年度 評価者フォローアップ研修(専門コース)発展編
【利用者調査に関する研修～児童分野～】

(公財)東京都福祉保健財団 18階 研修室1・2

《担当講師》

明治大学 文学部 心理社会学科 准教授：加藤 尚子 氏
(株)エイデル研究所 主任コンサルタント：石井 光恵 氏

《時間割》

時 間		科 目
10:00 ～	10分	開講挨拶 公益財団法人 東京都福祉保健財団 福祉情報部長 中村 佳市
10:10 ～	30分	○オリエンテーション ・グループ内自己紹介 ・この研修で学びたいことの表明
10:40 ～	60分	○講義 「東京都福祉サービス第三者評価における利用者調査の意義」
11:40	60分	休 憩
12:40 ～	260分	○講義・演習 「聞き取り調査技法を習得する」 ・児童の特性を理解する ・利用者に合ったコミュニケーション方法について学ぶ *途中、休憩あり(各10分程度)
17:00		終了

- ★ 休憩については、進行状況に応じて、講師より適宜案内いたします。
- ★ 時間の都合により、ワークの省略等、カリキュラムが変更する場合があります。

《配付資料》

- (1) 資料1「東京都福祉サービス第三者評価における利用者調査の意義」
- (2) 資料2「施設で暮らす子どもの背景と聞き取りの工夫」
- (3) アンケート用紙

- ※ 配付資料以外に『東京都福祉サービス第三者評価ガイドブック2014』を使用します。
- ※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)

2日目 10月21日(火)

平成26年度 評価者フォローアップ研修(専門コース) 発展編
【 利用者調査に関する研修 ～児童分野～ 】

(公財)東京都福祉保健財団 18階 研修室1・2

《担当講師》

明治大学 文学部 心理社会学科 准教授：加藤 尚子 氏
(株)エイデル研究所 主任コンサルタント：石井 光恵 氏
東京都福祉サービス評価推進機構 推薦講師：白土 有希子 氏、吉田 紅愛 氏

《時間割》

時 間	科 目
10:00 ～	5分 事務連絡
10:05 ～	160分 ○講義・演習 「場面観察方式の基本的な考え方、調査手法を理解する」 ・場面観察方式設定の経緯と意義について ・場面観察方式の実施方法について ・利用者の意向発信(サイン)を見出す難しさについて *途中、休憩あり(15分程度)
12:45	60分 休 憩
13:45 ～	195分 ○講義・演習 「場面観察方式の調査の流れを体感する」 ・個人調査シート作成のポイントについて ・個人調査シート作成をもとに合議を行うポイントについて *途中、休憩あり(15分程度)
17:00	終了

- ★ 休憩については、進行状況に応じて、講師より適宜案内いたします。
- ★ 時間の都合により、ワークの省略等、カリキュラムが変更する場合があります。

《配付資料》

- (1) 講義1「場面観察方式設定の経緯と意義について」
- (2) 講義2「場面観察方式の実施方法について」 + 場面観察方式 標準調査票
- (3) 講義3「利用者の意向発信(サイン)を見いだす難しさについて」
- (4) 研修2日目ワーク① 説明資料
- (5) ワークシート①②
- (6) 場面観察方式による調査の結果の導き出し方について
- (7) 場面観察方式 調査結果記載シート(個人メモ用)
- (8) アンケート用紙

- ※ 配付資料以外に『東京都福祉サービス第三者評価ガイドブック2014』を使用します。
- ※ アンケートに御協力ください。(お帰りの際にアンケート回収ボックスへの提出をお願いします。)